



体育大会が終わり、一息つく間もなく、文化発表会に向けて練習や準備に追われ、慌ただしい10月でした。

朝夕の寒暖差が大きく、また、今まで気が張っていた分、たまった疲れが出て体調を崩しやすい時期です。

残りの2学期も部活動の大会や修学旅行など控えています。引き続き体調管理をしっかり行いましょう。

11月8日は【いい歯の日】歯と口の健康を保とう！

歯と口は全身の健康の入口です。80歳になっても20本の健康な歯を保てるよう「かかりつけ歯科医」を見つけておくといいですね。定期的に受診すれば、口の中の状態（むし歯や歯周病など）を診てもらえますし、自分の歯並びに合わせたブラッシングを教えてもらえ、むし歯や歯周病を予防することができます。

吾田中生は、むし歯がある人は少ないですが、軽度の歯周病や、歯垢の付着がある人がとても多いです。歯を磨いていても、磨き残しがあるということです。要注意乳歯がある人も、早めに歯科医に相談しましょう。（実は、我が子も中学生のとき要注意乳歯があり、抜かずに放っておいたら、永久歯が横に生え始めたため、約20万円かけて矯正したという苦い経験があります。）

保健室来室状況(10月1日~27日)

	内科	外科	合計
1年	88	18	106
2年	34	32	66
3年	25	9	34
合計	147	59	206

1年：内科の来室が圧倒的に多いです。感染症から復帰した後の来室が多かったからでしょう。

2年：体育大会の日ケガが一番多かった学年です。

3年：内科も外科も来室がとても少ないです。

※PTA保体部の方へ：体育大会の日にアイシング用の氷を提供していただき、また、救護のお手伝いをしていただき、本当にありがとうございました！

【流行が警戒されるインフルエンザ】

本県における9月下旬の感染症発生動向調査で、インフルエンザ流行注意報レベルが基準値を超えました。過去10年間で、最も早い基準値超えです。

今後、インフルエンザと新型コロナの同時流行も予想されます。これまで行ってきた、手洗いうがい換気など、感染予防対策の徹底を継続しましょう。

生徒指導通信

~やってやれないことはない、
やらずにできるわけがない~



さて、文化発表会が終わりました。私の所属する3年生は、“進路”や“福祉”について学んできたことを発表しました。普段、授業で教わる学習はもちろん大切ですが、総合的な学習の時間のように、自分で調べたり、講話等を通して学びを深めたりする学習も大切だなあと感じます。

ただ単に覚えたり、書いたり、解いたりするだけが学習ではありません。身を持って感じたその思いや、調べていって改めた考えなど、体験してたくさん考えることが大切だなと思います。部活動でもよく、“一生懸命というのは何も考えずに必死に走るのではなく、必死に考えながら走ること”と教わってきたのですが、それこそ学習なのだと改めて感じました。

中学生にとっての学習というのはいろんなところに現れて、奥が深く、人格の形成に大切なものが散りばめられていますね。その学校生活の中にある大切なポイントを、しっかりとつかんでほしいし、それらを自分で繋げていける力を身に付けてほしいなあと感じます。

また、合唱コンクールもワクワク、ドキドキでした！練習期間中は、朝の時間、昼休みの時間など、各学級から心地よい歌声が毎日響いていました。僕も副担任として、出張で不在の担任の先生に代わりに、合唱の意義や価値を熱く語らせてもらいました★久しぶりに心が燃え上がるひと時でした（笑）

僕が担任をしていた数年前のこの時期に、アドバイスをいただいたことがあります。技術的なご指導もたくさんいただいたのですが、手紙の締めくくりにこう書かれていました。

『最後に、審査員は目を閉じて聴くわけではありませんので、目から入ってくる情報にも大きく左右されます。やはり笑顔だったり曲調にあった豊かな表情で歌っていたりすると、同じレベルの合唱であっても伝わり方は全く違ってきます。合唱部のコンクールではなく、クラス合唱のコンクールですから、学級が一つになって同じ思いを込めて歌えるようになると、表情もそろってくると思います。これが土台にあって初めて上にまとめたようなテクニックが生きてくるのです。』

合唱コンクールは“学級の歌”なのです。なので、歌が苦手な人もいるし、乗り気でない人もいる。歌が嫌いな人もいるかもしれません。でも、そんないろんな人たちが心をつなげて作り上げ、歌うのが合唱コンクールです。だからその“学級の歌”が仕上がったときには、ものすごく感動します！学級を愛する思い、学級を大切にしている思い、そんな気持ちが歌から溢れ出てきます！ああ、教員をしていて良かったなあと心が温かくなります！！そうです！ザ・青春です！！

先週、スクールトライアルという事業で、本校に大学生が3日間実習に来ました。その大学生が3日間を終えての最後のあいさつで、「合唱コンクールに向かう君たちの姿を見ていて、懐かしいなあと感じました。そして、もう自分が20歳になるんだなあと時間が経つのを感しました。」と話をしてくれました。…僕はもう39歳になりました！子どもたちが日々過ごしている、中学校での何気ない毎日は、本当にかけがえのないもので、二度と戻ることができない大切な時間なのです！この熱い日々を楽しんでほしい、喜びも、苦しみも君たちの大きな大きな財産です！本気で歌った彼らの歌は、本物の“学級の歌”となったのではないのでしょうか！

さあ、そんな温かな想いが溢れたのが中学校です！これからも、そんな本気を見せてほしいです。そして、保護者の方々も中学校の良さを存分に味わっていただけると嬉しいです。